

2019年度版
あいちICT戦略プラン2020
年次レポート
(2018年度分)

2019年11月

1	あいち ICT 戦略プラン 2020 の概要と年次レポートの趣旨	1
2	進捗状況と今後の展開	3
3	2018 年度の主な施策の実施状況	6
	(参考) 取組を紹介した Web サイトの一覧	26

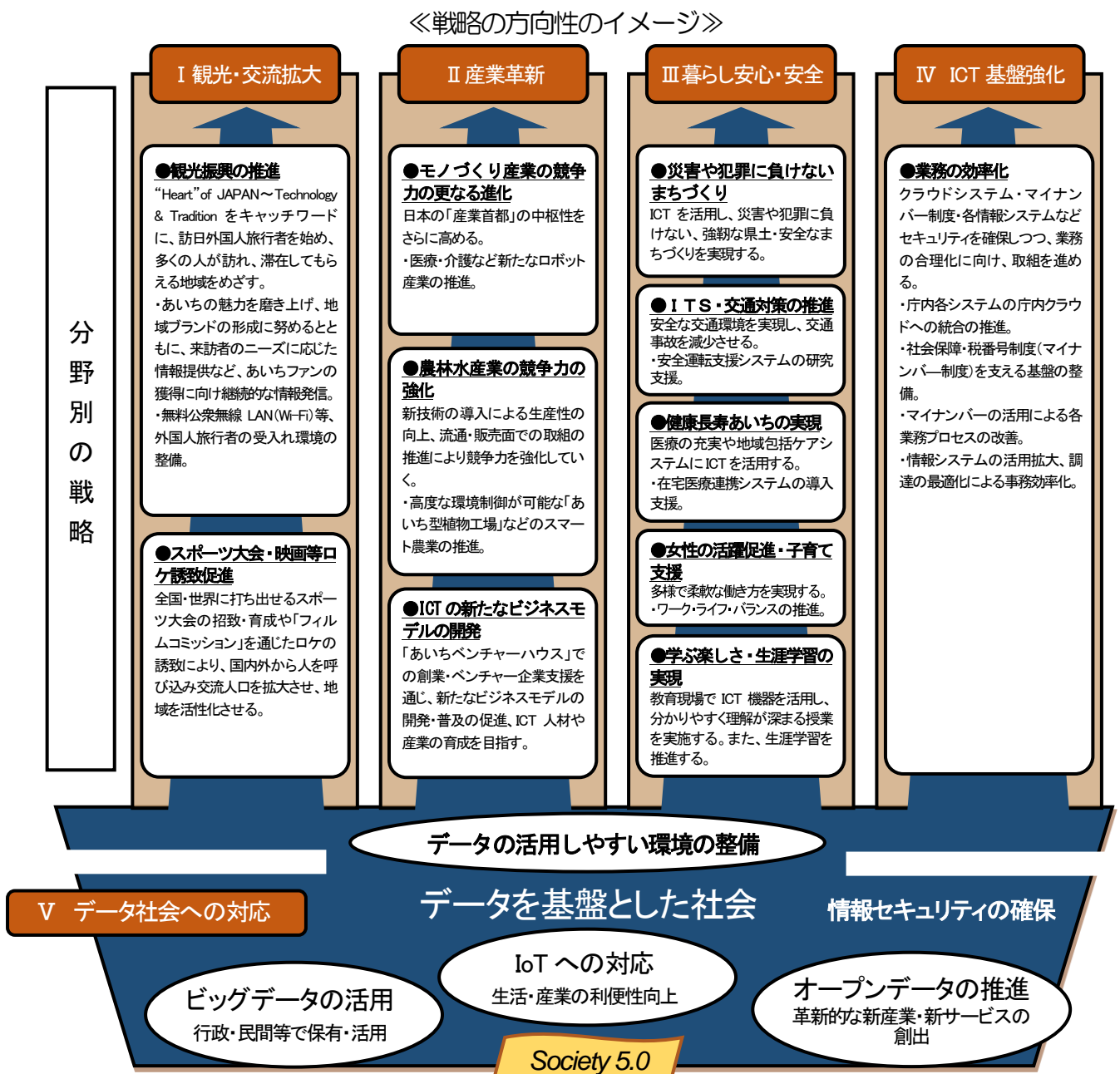
1 あいち ICT 戦略プラン 2020 の概要と年次レポートの趣旨

(1) あいち ICT 戦略プラン 2020 の概要

ICT 環境の、急速かつ大きな変化に的確に対応し、県が戦略的に展開する施策を ICT の活用で達成していくため、愛知県では 2016 年（平成 28 年）3 月に「あいち ICT 戦略プラン 2020」

（以下「ICT 戦略プラン」という。）を策定しました。「あいちビジョン 2020」の「めざすべき愛知の姿」の実現を支えていくことを基本方針とし、各計画で定めた具体的な目標の達成を支援することで、「あいちビジョン 2020」の「日本一の元気を暮らしの豊かさに」の実現を目指します。

戦略の方向性として、本県が取り組むべき 4 つのテーマ（観光・交流拡大、産業革新、暮らし安心・安全、ICT 基盤強化）が抱える課題について、最新の ICT の活用による課題解決を図るため、戦略的に施策を展開することとしています。また、この戦略的取組の前提となる「データ社会への対応」についても併せて整理することとしています。



(2) 年次レポートの趣旨

本県が取り組むべき4つのテーマとデータ社会への対応における**主な取組を報告**するとともに、今後の計画策定や計画を進める上での**課題を確認**し、計画を**進行管理**するために、年度毎に年次レポートを作成することとしています。

本書は、2018年度（平成30年度）についての年次レポートです。

○年次レポートで取り上げている取組の詳細について

2章2節及び3章で取り上げている取組の中で、関連するWebサイトが公開されている取組は、本文中と巻末にWebサイトのURLとQRコードを掲載しています。

取組の詳細について御興味を持たれた場合は、掲載されたWebサイトをご覧ください。

WebブラウザにURLを入力していただくか、スマートフォンのカメラ等でQRコードを読み取ることで、それぞれのWebサイトにアクセスできます。

2 進捗状況と今後の展開

(1) 2018年度の特徴

ICT 戦略プランの3年目となり、多くの事業が継続して進捗するとともに、新規の取組も多く行われています。

I 観光・交流拡大分野

「**LOVE あいちサポーターズの SKE48 を起用した愛知県の観光 PR 動画**」、「愛知県のスポーツ大会情報等を発信する Web サイト、SNS 等の運用」及び「三河湾の島々の魅力発信」等の取組で、Web サイトと SNS や動画を複合的に活用して情報発信を行い、**来県者数や観光消費の増加等**に貢献しました。

II 産業革新分野

AI、IoT やビッグデータといったデジタル技術の加速度的な進展は、この地域の産業構造を大きく変化させようとしています。2018年度は、「**Aichi-Startup 戦略の策定**」及び「**あいちのスマート林業の推進**」を新たに行うなど、**産業の競争力強化**に貢献しました。

また、「料理レシピサービス内に愛知県公式キッチンの Web ページを開設」及び「あいちのおさかなスポット AR スタンプラリーの開催」などの事業を通して、**農林水産物のブランド力強化**を推進しました。

III 暮らし安心・安全分野

2017年の愛知県の平均寿命と健康寿命の差は女性で約10歳あり、健康寿命を延ばし平均寿命との差を縮めていくことが必要です。2018年度は、「『健康経営支援ポータルサイト あいち健康経営ネット』の構築・運営」、「『あいち地域包括ケアポータルサイト』の構築・運営」及び「**愛知県薬剤遠隔指導事業**」を新たに行うなど、ICT を活用して「**健康長寿あいちの実現**」に貢献しました。

また、「危機管理型水位計の設置」、「小学校高学年を対象としたサイバー犯罪対策教材の作成・公開」、「**自動運転の実証実験**」及び「ICT の授業活用に関する研究」等の取組を行い、生活・交通・教育・環境など多岐にわたる分野で、**県民の暮らし安心・安全**に貢献しました。

IV ICT 基盤強化分野

昨今の全国的な働き方改革の広がりを受けて、愛知県においても、県内企業に対して多様な働き方の実現を推進していく一方で、**県庁内でも ICT を活用した職員の働きやすい職場環境の整備**を進めています。2018年度は、「音声認識システムの試行導入」、「**RPA 導入による行政事務の効率化の実証実験**」及び「会議のペーパーレス化を支援する機器の導入」を新たに行い、業務の効率化を推進しました。

V データ社会への対応分野

「**オープンデータニーズ調査の実施**」等の取組等を行い、**データを基盤とした社会の実現**に貢献しました。

(2) 2016年度から2018年度の総括

ア 総括

ICT 戦略プランでは、4つのテーマとデータ社会への対応として、143 項目の施策展開の方向性を設定しています。それぞれの項目ごとに進捗状況の評価と対象施策を下の表にまとめました。

143 項目のうち9 項目は2017 年度までに完了しています。残りの134 項目のうち、125 項目は順調に進展しており、9 項目で事業は完了しました。新規の施策展開は、検討段階のものを含めて16 項目ありました。

※1 評価は、「新規」＝新規の取組、「進展」＝継続して進展、「遅れあり」、「2018完了」＝2018年度に取組完了・終了、「2017完了」＝2017年度までに取組完了・終了の項目数を表します。

※2 ★の事業は、2019年度に後継事業がある事業です。

テーマ	評価		対象施策
Ⅰ 観光・交流 拡大	新規	3	「G20 愛知・名古屋外務大臣会合推進協議会」Web サイトの開設 等
	進展	31	愛知県の観光 PR 動画の公開 愛知県のスポーツ大会情報等を発信する Web サイト、SNS 等の運用 等
	2018 完了	2	三河山間地域の魅力やイベント情報を発信 (★) 三河湾の島々の魅力発信 (★)
	2017 完了	3	県内の大学生等による伝統文化についての情報の発信 等
Ⅱ 産業革新	新規	4	あいちのおさかなスポット AR スタンプラリーの開催 あいちのスマート林業の推進 等
	進展	24	「知の拠点あいち」 「愛知県 IoT 推進ラボ」 等
	2018 完了	1	あいち型植物工場 (★)
	2017 完了	5	あいちベンチャーハウスによる IT ベンチャー支援 等
Ⅲ 暮らし 安心・安全	新規	6	小学校高学年を対象としたサイバー犯罪対策教材の作成・公開 「あいち地域包括ケアポータルサイト」の構築・運営 等
	進展	46	県職員向けサテライトオフィスの試行設置 ICT の授業活用に関する研究 等
	2018 完了	4	県立学校の光回線化 ヘリコプターテレビ電送システム更新 (★) 自動運転の実証実験 (★) 等
	2017 完了	1	在宅医療連携システムの整備
Ⅳ ICT 基盤強化	新規	3	音声認識システムの試行導入 RPA 導入による行政事務の効率化の実証実験 等
	進展	18	庁内クラウドへの移行 マイナンバー制度への対応 等
	2018 完了	2	次期庁内クラウドの検討 職員採用システムの運用の見直し・改修
Ⅴ データ社会 への対応	進展	6	オープンデータカタログの充実 等
合計	新規 16 項目、進展 125 項目、2018 完了 9 項目、2017 完了 9 項目		

イ 完了・終了した主な取組

(ア) あいち型植物工場

2016年度からトマト、いちご、きく等 10品目を対象に、環境モニタリング・生育環境制御に必要な機器の導入や産地のグループ活動を支援する「あいち型植物工場推進事業」を実施し、3年間で、455戸の農家が76.1haにおいて、施設内環境データの共有による栽培技術の改善に取り組み、成果を挙げることができました。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/nososi/gijyutsujouhou.html>)



2019年度からは、「スマート農業実証推進事業」として、AI・IoT等の先端技術を活用したスマート農業技術の実用化と迅速な普及拡大に向けて、地域や作目ごとの特性を踏まえてスマート農業技術を実証するとともに、地域等でスマート農業技術をどのように導入していくか検討していきます。

(イ) 次期庁内クラウドの検討

次期庁内クラウドの利用のあり方について調査・検討を進め、2018年度に庁内クラウドを更改しました。

(3) 2019年度以降の展開

ICT技術の進展や社会経済状況の変化、新たな政策課題の顕在化など、「あいち ICT 戦略プラン2020」策定時とは異なる状況も出てきていることから、2019年度以降の展開については、以下に述べる点に留意して取組を進めていく必要があります。

○ 「都道府県官民データ活用推進計画」の策定

国の「官民データ活用推進基本計画」では、都道府県には、2020年度末までに都道府県の基本的な計画となる「都道府県官民データ活用推進計画」（以下「推進計画」という。）を策定することが求められています。

愛知県の推進計画はICT戦略プランの一部として2019年度末を目途に策定する予定です。2020年度に策定予定の次期ICTプランでは、推進計画と一体的な計画として策定する予定であるため、今回策定する推進計画は1年計画とします。

愛知県では、2018年度に「あいち ICT 活用推進本部」に各局の主管課等と企画課を構成員とした「愛知県官民データ活用推進計画策定会議」を設置するとともに、県が保有する行政データ等のオープンデータ化に関するニーズ調査を実施するなど、推進計画策定に向けた取組を行っています。

3 2018 年度の主な施策の実施状況

本章では「ICT 戦略プラン」で掲げた展開する施策について、2018 年度に実施した主な取組の内容を報告します。

取組の詳細について御興味を持たれた場合は、掲載された Web サイトをご覧ください。

I 観光・交流拡大

ICT 戦略プランの施策項目

項目	施策の展開
1-1 観光振興の推進	<ul style="list-style-type: none"> Web サイト、SNSによる観光関連情報の充実 外国人旅行者の受入環境整備 等
1-2 スポーツ大会・映画等口 ケ誘致促進	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ大会・合宿等の誘致 大規模イベントの誘致・開催 等
1-3 情報発信力の強化	<ul style="list-style-type: none"> 「ネットあいち」を始めとする、Web サイトの活用 デジタルサイネージなど多様なメディアの活用

【1-1 観光振興の推進】

Web サイト、SNSによる観光関連情報の充実

- LOVE あいちサポーターズのSKE48 を起用した愛知県の観光PR 動画の公開
(<http://www.aichi-travel-ske.jp/>)

観光 PR キャラクター事業として、LOVE あいちサポーターズのSKE48 を起用した 2018 年度の動画・ポスターを制作し、県内観光資源を紹介しながら愛知の魅力を発信して誘客を図りました。

この動画は、10 月から 12 月にかけて開催した大型観光キャンペーン「愛知デスティネーションキャンペーン (DC)」と連携しています。またこの動画の短編版を DC 期間の 10 月から 12 月にかけてテレビCM や JR 主要駅のビジョン広告等でも放映しました。



動画の視聴回数 (2018 年 10 月~2019 年 3 月) : 187 万回



- 三河山間地域の魅力やイベント情報を発信

(<https://www.mikawayamazato.jp/>)

三河山間地域の五平餅や鮎などのグルメや、花祭を始めとする伝統文化、茶臼山などの大自然といった都市部にはない魅力をより効果的かつ多くの人々に発信するため、インスタグラム、フェイスブック等の SNS、Web ページを活用し、三河山間地域の魅力やイベントの情報発信を継続して行い、三河山間地域の振興を図りました。



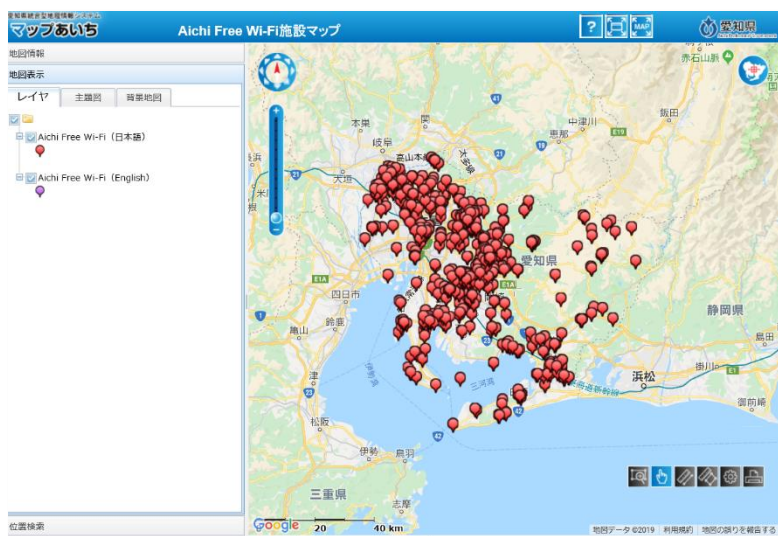
2018年度のWeb サイト閲覧回数：44,749回

外国人旅行者の受入環境整備

- 無料公衆無線 LAN 環境を整備

(<https://profile.maps.pref.aichi.jp/lib/map.php?mid=1000582&cid=2>)

あいち無料公衆無線 LAN 推進協議会の運営を通じた Wi-Fi 環境の整備促進に向けた活動やフリー Wi-Fi 周知広報用リーフレットの配布を実施しました。



Aichi Free Wi-Fi 施設マップ登録施設数
2017年：450施設→2018年：700施設



【1-2 スポーツ大会・映画等ロケ誘致促進】

スポーツ大会・合宿等の誘致

- 愛知県のスポーツ大会情報等を発信するWeb サイト、SNS 等の運用

(<http://aichi-sports.jp/>)

スポーツ大会などへの参加者・観戦者の利便性の向上のため、Web サイト「aispo!web」や、フェイスブック、ツイッター「aispo!」による情報発信を強化し、スポーツ大会やプロスポーツ、実業団スポーツなどの情報を全国に向けて発信しました。

2018年度は、女性スポーツライターによるスポーツ観戦についてのブログ「はじめてさんのスポーツ観戦NAVI!」などのコンテンツを開始し、魅力発信を行いました。

The image shows a screenshot of the website 'aispo!web'. The header features the logo and navigation menu. The main content area includes a magazine cover for 'aispo! 21', a swimming event announcement for '水泳の国 AICHI-NAGOYA' with a time of 37:22:46:07, and a soccer player in a red jersey. A sidebar on the right contains 'NEWS お知らせ' and 'INFO スポーツ大会新着情報'. A QR code is visible on the right side of the page.

The banner features a female sports writer, Sayaka Mituda, with the text '女性スポーツライター・光田さやかの “はじめてさんのスポーツ観戦NAVI!” in aichi'. The background is a light blue and white grid pattern.

2018年度のWebサイトのページビュー：75,503件
2018年度の地域活性化を促進するためのPR、会議等活動回数：350回

【1-3 情報発信力の強化】

「ネットあいち」を始めとする、Web サイトの活用

○ 三河湾の島々の魅力発信

(<https://rito.aichi.jp/phototabi/>)

離島及びその周辺地域の活性化を目指し、新たな観光客の誘客等により交流を増加させるため、SNS、TV、ラジオ、ちらし、ポスター等による情報発信事業等を実施しました。

2018年度は、あいちの離島で撮影した写真のInstagramへの投稿を募集するキャンペーン「#あいちの離島 フォト旅キャンペーン」を実施するなど情報発信を進めました。

キャンペーンの参加方法 @ f t
follow @rito.aichi

2018.8.1 wed - 2019.1.31 thu

#あいちの離島 フォト旅 キャンペーン

佐久島 日間賀島 篠島

期間中、あいちの離島(佐久島・日間賀島・篠島)で、島らしい素敵な写真を撮影。撮影した写真をInstagramでハッシュタグ「#あいちの離島」をつけて投稿。抽選で20名様にあいちの離島特産品や離島グッズをプレゼント!

・SNS キャンペーン投稿数：610回 ・Facebook 発信数：31回
・TV 放送(CM)：140回 ・情報誌掲載：4回

II 産業革新

ICT 戦略プランの施策項目

項目	施策の展開
2-1 モノづくり産業の競争力の更なる進化	<ul style="list-style-type: none"> ・創業の支援、開発・立地の促進 ・モノづくり人材の育成 等
2-2 農林水産業の競争力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・特産品のPR強化 ・効率的な森林整備 等
2-3 ICT の新たなビジネスモデルの開発・人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・IT 産業の支援・創業支援 ・ICT スキルを持つ人材の育成
2-4 商業の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街情報の発信強化

【2-1 モノづくり産業の競争力の更なる進化】

創業の支援、開発・立地の促進

- 「知の拠点あいち」を中心とした産学行政の連携による共同研究開発プロジェクトの推進
<http://www.chinokyoten.pref.aichi.jp/cooperation/project02-02.html>
 大学等の研究シーズを活用して県内主要産業が有する課題を解決し、新技術の開発・実用化や新産業の創出を目指すことを目的とした産学行政連携の研究開発プロジェクト「知の拠点あいち重点研究プロジェクト(Ⅲ期)」は、2018年度が最終年度となりました。
 各研究テーマにおける研究成果の評価と、プロジェクト終了後の製品化・事業化にかかる今後の自立的な取組に活用するための最終評価を実施し、ロボット分野又は自動車安全技術分野に関する9件の研究テーマは、いずれも高い評価となりました。これらの研究成果は、今後、県内の産業や暮らしなど、さまざまなシーンでの活躍が期待されます。



ロボット分野又は自動車安全技術分野に関する
 研究テーマ数：9件

①高齢者が安心快適に生活できるロボティクススマートホーム	⑥愛知次世代ロボットの産業化・市場創出を推進する要素技術開発
②介護医療コンシェルジュロボットの研究開発	⑦ロボット実用化のためのリスクアセスメント支援システム構築
③航空エンジン製造自動化システムに関する研究開発	⑧眼球運動を指標としたドライバ状態検知技術の実用化
④施設園芸作物の収穫作業支援ロボットの研究開発	⑨交通事故低減のための安心安全管理技術の開発
⑤鳥獣害・災害対応ドローンに関する研究開発	

○ Aichi-Startup 戦略の策定

(<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/282849.pdf>)

AI、IoT やビッグデータといったデジタル技術の加速度的な進展は、産業構造を大きく変化させようとしています。こうした歴史的な転換期にあっても、愛知県が競争力を維持・強化し、引き続き日本、世界をリードしていくためには、強みであるモノづくりと先端デジタル技術を融合させ、革新的な製品・サービスや新たなビジネスモデルを生み出し続けることが不可欠です。

そこで愛知県では、新たなビジネスの種となる「スタートアップ企業」の育成を図るとともに、国内外からも誘引し、この地域にスタートアップ・エコシステムの拠点形成を図ることを目的に、2018年4月に「あいちスタートアップ推進ネットワーク会議」を立ち上げ、この会議のメンバーの事業を中心に「Aichi-Startup 戦略」を策定しました。



・Aichi-Startup Camp

Aichi-Startup 推進事業の一つとして、革新的なアイデアで起業を目指す人材を発掘・養成する「Aichi-Startup Camp」を3回開催しました。

新しいアイデアにより起業を希望する方を対象として、ワークショップ形式のキャンプを実施した後、参加者は個別支援を受けながらビジネスプランをブラッシュアップし、特に優れたビジネスプランについては、2019年1月に投資・事業提携の実現を目的としたプレゼンテーションイベントで発表しました。

・「あいちアクセラレーター」におけるスタートアップ支援

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/iisedai/aichi-accelerator.html>)

Aichi-Startup 推進事業の一つとして、新しい技術やアイデアを持つスタートアップ（ベンチャー企業）を募集し、5か月にわたる集中支援や、資金獲得・事業提携等につなげるための場を提供するとともに、愛知県内の既存産業企業とのマッチングを図る「あいちアクセラレーター2018」を実施し、8社のスタートアップが参加しました。

The image shows a promotional banner for the Aichi-Startup Accelerator 2018. The banner features the text "世界のものづくりにイノベーションを起こす" (Start innovation in the world's manufacturing) and "0→1Booster × 愛知県" (0 to 1 Booster × Aichi Prefecture). Below this, it states "参加スタートアップの資金獲得又は事業提携に向けた商談等件数：18件" (Number of negotiations for funding or business partnership for participating startups: 18 cases). To the right is a flowchart illustrating the process: 1. 機運醸成 (Atmosphere creation) leads to 2. 成功モデル創出 (Successful model creation), which leads to 3. 既存産業のイノベーション (Innovation in existing industries). This process involves "県内スタートアップ" (Intra-county startups) and "県外スタートアップ" (Inter-county startups), with "マッチング" (Matching) between "県内産業 (モノづくり企業等)" (Intra-county industries (manufacturing companies, etc.)) and "県内スタートアップ" (Intra-county startups). A "誘引" (Attraction) arrow points from the inter-county startups back to the intra-county startups.

【2-2 農林水産業の競争力の強化】

特産品のPR強化

- 料理レシピサービス内に愛知県公式キッチンのWebページを開設

(<https://cookpad.com/kitchen/26129736>)

全国トップレベルの農林水産物の更なるブランド力強化や県産農林水産物全体のイメージアップを図るため、料理レシピサービス「クックパッド」に県公式キッチンのWebページを2018年9月に開設し、県産農林水産物を使用したレシピを掲載しました。

この中では、料理研究家の監修により、季節行事に絡めたオリジナルレシピを開発し、作り方とともに使用する県産農林水産物等について紹介しています。



アクセス数 (2018年9月～
2019年3月) : 38,132件

- あいちのおさかなスポットARスタンプラリーの開催

(<https://saza-nami.com/>)

県産水産物のブランド力を強化するために、「あいちのおさかなスポットARスタンプラリー」を開催しました。本スタンプラリーでは、県産水産物を提供する産地の小売店や飲食店等で、スマートフォン等を用いて、あさり、うなぎ、しらす、のり、めひかり、干物を紹介するAR動画を視聴し、アプリ上でスタンプを集めて応募した方に、抽選で県産水産物等をプレゼントしました。



スタンプラリー期間の動画の視聴回数 (2018年9月～2019年2月) : 7,104回

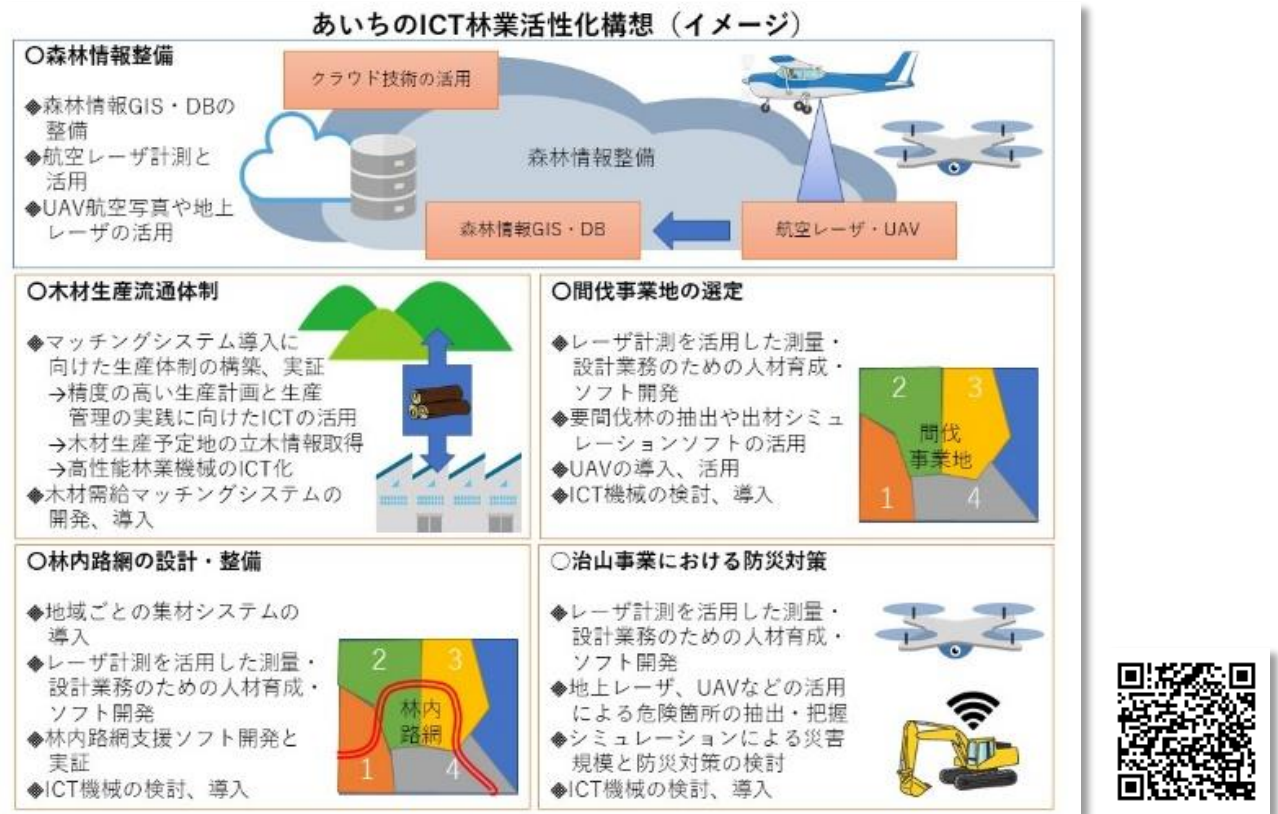
効率的な森林整備

○ あいちのスマート林業の推進

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/rinmu/ictringyou.html>)

航空レーザ計測で把握する高精度で詳細な森林資源情報や、森林・林業・木材産業におけるICTの活用方法について、調査・検討を行い、「あいちのICT 林業活性化構想」を作成しました。

この構想は、本県が目指す中長期の目標と取組をとりまとめたもので、今後は、この構想を基に、林業のスマート化を推進していきます。



【2-3 ICTの新たなビジネスモデルの開発・人材育成】

IT産業の支援・創業支援

○ 「あいちアクセラレーター」におけるスタートアップ支援（再掲P11）

ICTスキルを持つ人材の育成

○ 「愛知県IoT推進ラボ」

(<https://www.pref.aichi.jp/site/aichi-pref-iot/>)

「愛知県IoT推進ラボ」では、愛知県内において、IoTの活用促進を図るため、これまで県が推進してきている自動車、ロボット、健康長寿などの産業分野を中心に、企業のIoTの活用を支援します。

2018年度には、製造業におけるIoT技術の導入・活用セミナー及び農業におけるIoT技術の導入・活用セミナーを開催しました。



2018年度の
セミナー参加者：196名



○ 名古屋高等技術専門学校「組込みシステム科」の新設

(http://www.pref.aichi.jp/shugyo/koukyou/nagoya/nai_f_kumikomi_system.html)

愛知県立名古屋高等技術専門学校では、IoT技術者の育成を目指す「組込みシステム科」を2019年4月に新設しました。

IoTで必要となる情報技術(システム設計・プログラミング)をはじめとして、組込み技術(マイコン制御)とネットワークをメインに学び、ソフトウェア開発技術者、プログラマー及び電気・電子・電気通信機器生産技術者関連職種への就職を目指します。

The screenshot shows the website for Nagoya vocational training institute of aichi prefecture. The header includes the school name and navigation links like 'TOP', '施設案内', '訓練内容', '就職支援', '周辺地図', and 'お問い合わせ'. The main content area features a banner for the '組込みシステム科' (Embedded Systems Course) with a photo of a student working on a circuit board. To the right, a table lists the '訓練内容' (Training Content):

訓練内容
普通課程
2年コース
組込みシステム科
建築デザイン施工科
1年コース
機械エンジニア科
短期課程
知的障害者向け職業訓練
雇用セーフティネット対策訓練
スキルアップ講座
オーダーメイド型スキルアップ講座



III 暮らし安心・安全

ICT 戦略プランの施策項目

項目	施策の展開
3-1 災害や犯罪に負けないまちづくり	・災害時における情報伝達 ・子どもたちや女性の安全確保 等
3-2 ITS・交通対策の推進	・ITS等の研究支援・普及・拡大
3-3 健康長寿あいちの実現	・企業等における健康経営の支援 ・地域包括ケア 等
3-4 女性の活躍促進・子育て支援	・ワーク・ライフ・バランスの推進 ・結婚・子育て支援 等
3-5 学ぶ楽しさ・生涯学習の実現	・魅力ある授業の実施 ・Web サイトを通じた学校・図書館・生涯学習情報の提供 等
3-6 「環境首都あいち」の実現	・エコアクションの促進 等

【3-1 災害や犯罪に負けないまちづくり】

災害時における情報伝達

○ 危機管理型水位計の設置

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kasen/kikaku1-h30press4.html>)

国土交通省が進める「中小河川緊急治水対策プロジェクト」の対策の一つとして、洪水時の水位監視を目的とした危機管理型水位計（洪水時のみの水位観測に特化し、機器の小型化や通信機器等のコストを低減した水位計）の設置を、県が管理する河川に対して進めています。

2017年7月、8月の豪雨にて越水した五条川と合瀬川に、先行して4か所の設置を進め、2018年6月から運用を開始しました。従来は把握できなかった水位の監視が可能となり、自治体における的確な減災行動に役立つことが期待されています。



○ 無料公衆無線LAN環境を整備（再掲P7）

子どもたちや女性の安全確保

○ 小学校高学年を対象としたサイバー犯罪対策教材の作成・公開

(<https://www.pref.aichi.jp/police/anzen/cyber/keihatu/cyberpolicegame.html>)

スマートフォンを使い始める小学校高学年の児童が増加していることを受け、児童が自ら考えるワークショップの要素を取り入れたゲーム形式の教材「サイバーポリスゲーム」を作成して2019年3月にWebサイト上で公開しました。

ゲームを通して事例をグループで討論することで、実際の事例を自分のこととして考え、友達の意見も聞くことで疑似体験し、対処能力を高めることができるほか、インターネットを使う上で守るべきネットマナーを身に付けることができる等の効果が期待されます。

スタート!
サイバーポイントをゲットしながらゴールを目指そう!

クイズ! ①
正解したら 1ポイントGET!

問題発生 ②

無料のオンラインゲームで遊んでいたが、有料アイテムを勝手に買ってしまい、多額の請求がきた。
2ポイントマイナス

クイズ! ④
SNSで友だちの悪口を書きこんでしまった。
2ポイントマイナス

クイズ! ⑤
正解したら 1ポイントGET!

友だちと一緒にとった写真を勝手にSNSにのせてしまった。
2ポイントマイナス

5つの約束全部言えるかな?
何も見ずに全部言えたら 1ポイントGET!

問題発生 ⑥

クイズ! ⑧
正解したら 1ポイントGET!

SNSで同じ年齢というAさんと友だちになったよ。Aさんってどんな人だろう?
2つ以上答えて 1ポイントGET!

問題発生 ⑦

問題発生 ⑩

友だちにパスワードを聞かれて教えてしまった。
15番にワープ!

1日のうちで、スマートフォンやタブレットを使う時間を決めた。きちんと時間を守って使っている。
1ポイントGET!

問題発生 ⑪

GOAL!
これであなたもサイバーポリス
先にゴールしたチームは 3ポイントGET!

パスワードを人に教えてはいけないよ。なぜ教えてはいけないのかな?
2つ以上答えて 1ポイントGET!

個人情報ってどんなものがあるのかな?
4つ以上答えて 1ポイントGET!

クイズ! ⑩
正解したら 1ポイントGET!

悪ふざけをした動画を、インターネットにのせたら炎上してしまった。あわてて動画を消そうとしたけど、どんどん拡散してしまった。
2ポイントマイナス

クイズ! ⑬
正解したら 1ポイントGET!

問題発生 ⑫

ポイント表

サイバ探偵	マホ巡査
1	
0	
9	
8	
7	
6	
5	
4	
3	
2	
1	
0	

サイバーポリスゲーム



【3-2 I T S ・ 交通対策の推進】

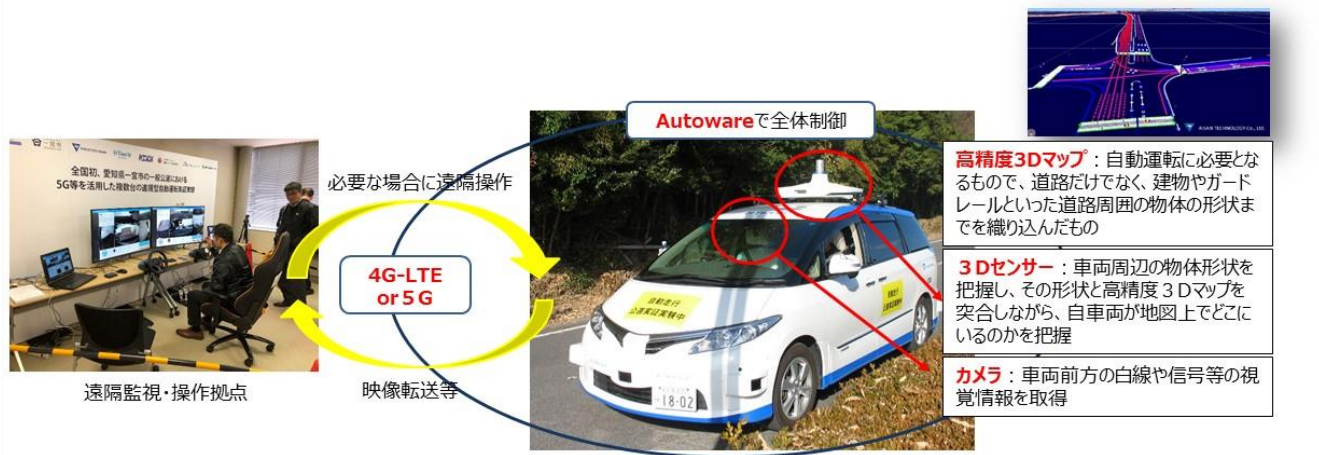
I T S 等の研究支援・普及・拡大

○ 自動運転の実証実験

愛知県は、将来の自動運転サービスの実現を目指し、全国に先駆けて、2016 年度から、自動運転の実証実験を積み重ねています。2018 年度は、複数台の遠隔型自動運転車両を同時に走行させる実証実験や、一宮市においては次世代通信規格である 5G を活用した実証実験を行うなど、最先端の実証実験を実施しました。

併せて、県民 76 名及び交通事業者等企業 67 社に対しモニター調査を実施し、自動運転に関して 9 割以上の方が「自動運転が実現した社会の到来に賛成」と回答しており、高い社会的受容性を確認しました。

(注 5G：第 5 世代移動通信システム。通信速度の高速化に加え、多数同時接続、超低遅延といった特徴を持つ。)



モニター調査結果（抜粋）

①自動運転車への期待	高齢者の移動支援（95%）、交通事故の削減（83%）、交通事故の削減（81%）
②自動運転が実現した社会の到来に賛成	とてもあてはまる（68.4%）、ややあてはまる（22.4%）、どちらでもない（5.3%）
③危険を感じることはなかった	全くなかった（46.1%）、ほとんどなかった（28.9%）、どちらでもない（14.5%）

【3-3 健康長寿あいちの実現】

企業等における健康経営の支援

- 「健康経営支援ポータルサイト あいち健康経営ネット」の構築・運営

(<https://www.kenko-keiei.pref.aichi.jp/>)

従業員の健康づくりに取り組む企業等の増加を図り、県民の健康寿命の延伸につなげることを目的に、2018年11月に「愛知県健康経営推進企業」の登録制度及び「あいち健康経営アワード」を創設しました。

これに合わせて、企業等の「健康経営」の取組事例や県・市町村等の健康づくり事業等の情報を集約したポータルサイト「あいち健康経営ネット」を公開・運営し、企業等における「健康経営」の取組を支援しています。



2018年11月～2019年3月の
アクセス数：4,096件

地域包括ケア

- 「あいち地域包括ケアポータルサイト」の構築・運営

(<https://www.aichi-chiikihoukatu-portal.jp/>)

高齢となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療・介護・介護予防・生活支援・住まいを切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」の構築を進めております。

地域包括ケアに関する情報発信の充実を目的に、高齢者と地域をつなぐプラットフォームとして、「あいち地域包括ケアポータルサイト」を2019年3月に開設しました。このサイトでは、地域包括支援センターや地域包括ケアに関する地域イベント及び活動団体の情報検索機能の他、認知症チェックといった認知症情報を掲載しています。



活動団体登録数(2019年3月末時点)：
31団体

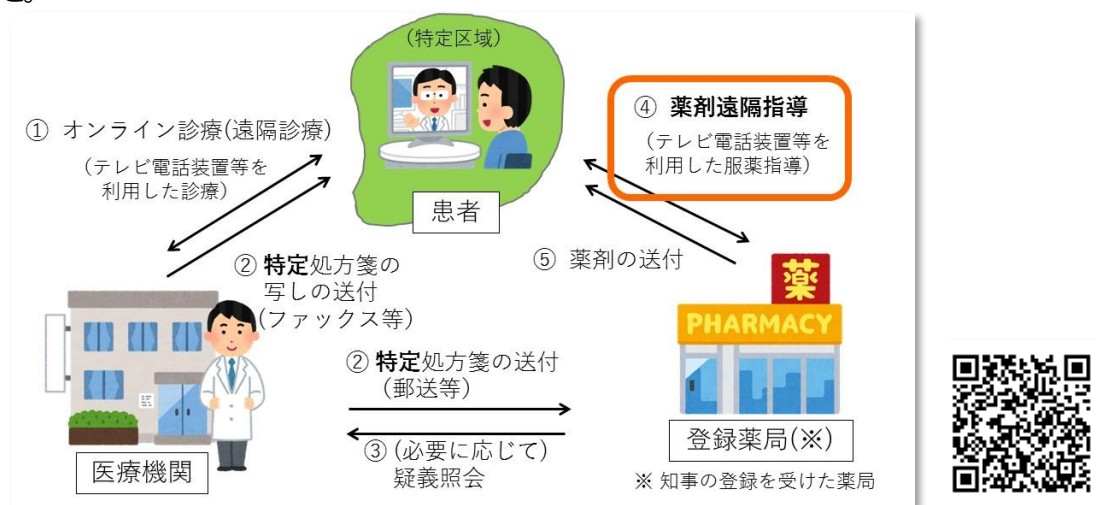
オンライン服薬指導

○ 愛知県薬剤遠隔指導事業の開始

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/iyaku/18062101.html>)

地域の医療の充実を目的に、本事業は、国家戦略特区の規制改革メニューの1つである「テレビ電話を活用した薬剤師による服薬指導の対面原則の特例」を福岡市及び兵庫県養父市と並んで国内で初めて活用し、2018年6月から事業を開始しました。

特定区域（離島及び三河山間地域）に居住する者に対しオンライン診療が行われた場合に限り、知事の登録を受けた薬局の薬剤師がオンライン服薬指導を実施することが可能になりました。



・薬剤遠隔指導についての国家戦略特区の規制改革メニューを国内で初めて活用

・登録薬局数：4件

【3-4 女性の活躍促進・子育て支援】

ワーク・ライフ・バランスの推進

○ 県職員向けサテライトオフィスの試行設置

出張時における勤務時間を有効活用し、業務を効率的に行うため、県職員ポータルサイト等の利用が可能なパソコンを備えたサテライトオフィスを2017年度に本庁舎に設置しました。

2018年度は、本庁舎に加え自治研修所及び東京事務所に設置し、3箇所になりました。

2018年4月から2019年3月の利用人数：延べ411人

【3-5 学ぶ楽しさ・生涯学習の実現】

魅力ある授業の実施

○ ICT の授業活用に関する研究

(<https://apec.aichi-c.ed.jp/index.htm>)

ICT の授業活用に関する研究を行い愛知総合教育センターの教育コンテンツの拡充を図っています。

2018年度は、小中学校でのビジュアルプログラミングソフトを用いたプログラミング学習についての報告や特別支援学校でのタブレットを用いた授業及び水産教育でドローンの活用についての報告等の教育コンテンツを拡充しました。また、「プログラミング教育に関する研究」について発表を実施しました。



iPadを利用した記録



不具合についての協議



ワークシートの記入



飛行テストと改善策の発表風景

2018年度に拡充したWebコンテンツ数：9件

2018年度の研究発表会参加者アンケートで「役に立つ」との回答：91%



IV ICT 基盤強化

ICT 戦略プランの施策項目

項目	施策の展開
4-1 自治体クラウドの推進	<ul style="list-style-type: none"> • 庁内クラウド • 市町村におけるクラウド導入の支援
4-2 マイナンバー制度への対応、活用による業務プロセス改善	<ul style="list-style-type: none"> • マイナンバー制度への対応 • 業務プロセス改善
4-3 情報システムの活用拡大、調達最適化	<ul style="list-style-type: none"> • 情報システムの活用・更新 • 情報システムの適正調達の推進

【4-1 自治体クラウドの推進】

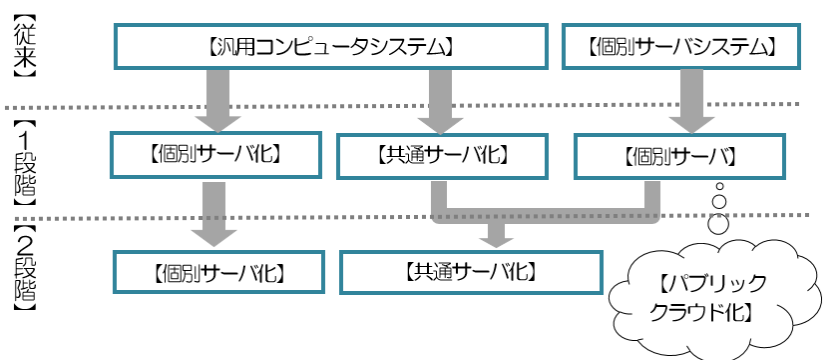
庁内クラウド

○ 庁内クラウドへの移行

IT 経費の削減、情報システムの安定的な稼働及び効率化を目的とし、汎用コンピュータに換わる業務システム基盤として共通サーバシステム（庁内クラウド）を 2014 年4月から稼働しています。

2018 年度は5 システムを庁内クラウド上に移行し、2018 年度末時点で 55 システムを庁内クラウド上で運用しています。庁内クラウドへのシステム移行により、各課で行う業務のシステム運用経費の削減につながりました。

業務システム基盤の再構築と段階的なシステム統合イメージ（簡略版）



【4-2 マイナンバー制度への対応、活用による業務プロセス改善】

マイナンバー制度への対応

○ マイナンバー制度への対応

マイナンバーを用いた情報連携開始後初めての大幅な「データ標準レイアウト」の改版が2018年7月に行われ、情報政策課はマイナンバー制度に関係する事務を所管する課室の支援を行いました。今後、日本年金機構等との情報連携が2019年度から開始予定であり、「データ標準レイアウト」の改版も毎年度行われる予定のため、システム改修や副本の再登録等の必要な準備作業に支障が出ないように、引き続き情報政策課は全体管理等を行います。

また、消費税率引上げに伴う反動減対策の1つとして、「マイナンバーカードを活用した消費活性化策」が2020年度に予定されています。これは、マイナンバーカードのマイキー部分を用いて「自治体ポイント」で買い物等を行う際にプレミアムポイントを付与するものです。マイキーを用いる際の共通情報基盤である「マイキープラットフォーム」の効果的な事業運用のため「マイキープラットフォーム運用協議会」が設立されており、県内においては、2019年3月時点で10市町が参加しています。

【4-3 情報システムの活用拡大、調達最適化】

情報システムの活用・更新

○ 音声認識システムの試行導入

愛知県庁内の共通業務を効率化し、総勤務時間の縮減を図るため、会議録作成事務の省力化に資する音声認識システムを2018年7月から2018年12月まで本庁を対象に試行導入しました。

システムを利用した67件のうち42件(63%)で削減効果が認められ、効果があった42件は平均で作業時間を37%削減できました。有効性が確認できたため、2019年度は地方機関を含む全庁に導入します。

利用件数：67件

会議録作成時間の削減効果：37%

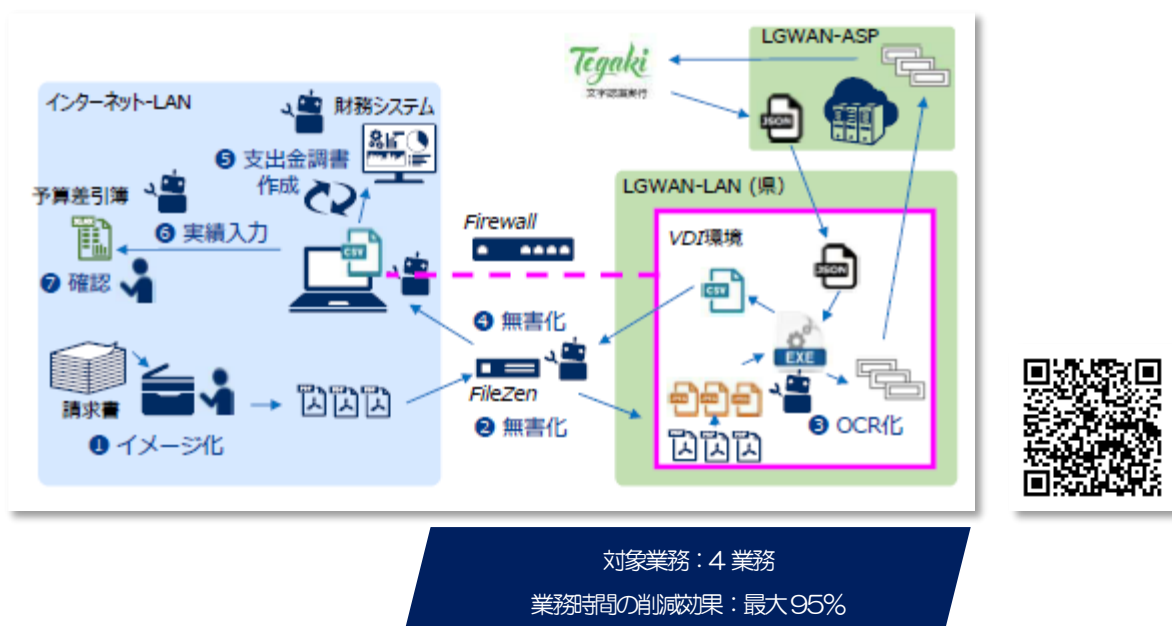
○ RPA 導入による行政事務の効率化の実証実験

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/somubu-somu/30rpa2.html>)

民間事業者と共同で、RPA 導入による愛知県庁内の行政事務の効率化の実証実験を2018年11月から2019年3月に実施しました。

財務システムでの支払業務、人件費執行簿の集計業務などの対象とした4業務全てで、作業時間を削減(削減率 最大95%) するなどの、導入効果を確認しました。2019年度は、本実証実験の結果を踏まえ、RPA の本格導入に向け、試行導入を実施します。

(注 RPA : Robotic Process Automation の略。パソコン上で定型業務を自動処理するプログラム。)



○ 会議のペーパーレス化を支援する機器の導入

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/somubu-somu/pkaigi.html>)

愛知県庁の庁内会議の効率的な運営及び環境負荷軽減のため、ペーパーレス会議の開催を支援する「ペーパーレス会議システム」を導入しました。2019年4月から、局長会議等の会議で運用開始します。



V データ社会への対応

ICT 戦略プランの施策項目

項目	施策の展開
5-1 オープンデータの推進	・オープンデータの推進
5-2 ビッグデータの活用	・ビッグデータの活用
5-3 IoT への対応	・IoT への対応

【5-1 オープンデータの推進】

オープンデータの推進

○ オープンデータニーズ調査の実施

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/joho/opendata-needs.html>)

愛知県では、オープンデータ推進にあたり、県が保有する行政データ等のオープンデータ化に関するニーズを把握するために、2019年2月にWeb アンケート調査「平成30年度愛知県オープンデータニーズ調査」を行いました。

企業、団体及び大学から134件、個人から841件の回答がありました。本調査結果は、県が2019年度末の策定を目指している「愛知県官民データ活用推進計画（仮称）」検討に向けた基礎調査資料として活用しています。また、このデータをオープンデータとして提供しています。



アンケート調査の回答件数

企業、団体及び大学：134件、個人：841件

○ オープンデータカタログの充実

(<https://www.pref.aichi.jp/life/7/>)

オープンデータに関する問合せや要望及び活用事例等を受け付けるために、2018年10月に県のオープンデータカタログサイトに問合せフォームを設置しました。

2018年度末時点での公開ジャンル数は57件増えて、118件に、公開データ数は2,338件増えて、3,126件となりました。今後も公開データ数の増加を図っていきます。



また、県と県内市町村（名古屋市を除く）で設立した「あいち電子自治体推進協議会」が2017年3月に開設した、「あいち電子自治体推進協議会オープンデータカタログ」(<http://www.e-aichi.jp/opendata.html>)と相互リンクを設定しています。このWebサイトは、愛知県と県内市町村が提供するオープンデータの一覧を見ることができ、各自治体のオープンデータのページに遷移できるようになっています。



【5-3 IoTへの対応】

IoTへの対応

- 「愛知県IoT推進ラボ」(再掲P14)
- 危機管理型水位計の設置(再掲P15)

(参考) 取組を紹介した Web サイトの一覧

◆あいち ICT 戦略プラン 2020

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/joho/plan2020-1.html>

愛知県の情報通信技術の総合指針です。

◆あいちビジョン 2020

<https://www.pref.aichi.jp/kikaku/aichivision2020color/aichivision2020color.html>

2030 年頃の社会経済を展望し、2020 年までに取り組むべき重点的な戦略を明らかにするとともに、県内各地域の取組方向を示す「あいちビジョン 2020」について掲載しています。

◆愛知県農業総合試験場 研究の成果 (技術情報)

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/nososi/gijyutsujouhou.html>

研究成果として、あいち型植物工場のガイドラインやマニュアルを掲載しています。

◆愛知県観光 PR 「さあ、愛知の旅が始まる。」

<http://www.aichi-travel-ske.jp/>

新作の観光 PR 動画を紹介するとともに、SKE48 が観光施設を紹介するオリジナル動画も掲載しています。

◆山里の魅力創造社

<https://www.mikawayamazato.jp/>

愛知高原・奥三河の魅力を発信するために集まった、さまざまなメンバーによるプロジェクトチームの Web サイトです。

◆Aichi Free Wi-Fi 施設マップ

<https://profile.maps.pref.aichi.jp/lib/map.php?mid=1000582&cid=2>

Aichi Free Wi-Fi とは、店舗や商店街、宿泊施設や観光施設などへの無料公衆無線 LAN の整備促進を図り、無料公衆無線 LAN サービスが提供されている施設における Aichi Free Wi-Fi シンボルマークの掲出や、Aichi Free Wi-Fi 施設マップによるアクセスポイント情報等を発信している無料公衆無線 LAN をいいます。

(「SSID:Aichi_Free_Wi-Fi」は愛知県が県有施設に整備したアクセスポイントの SSID です。)

◆愛知県のスポーツ情報ポータルサイト aispo!web

<http://aichi-sports.jp/>

県内で開催される各種スポーツ大会の参加者や観戦者の増加及び本県のプロスポーツチーム・実業団スポーツチームのファンや試合観戦者の拡大のため、Web サイトや SNS を活用した情報発信を行います。

◆#あいちの離島フォト旅キャンペーン

<https://rito.aichi.jp/phototabi/>

「#あいちの離島フォト旅キャンペーン」について掲載しています。本キャンペーンは2018年度で終了しています。

◆あいちの離島（佐久島・日間賀島・篠島）『島イチ』フォトコンテスト

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shichoson/ritophotokontesuto.html>

2019年7月から12月に『島イチ』フォトコンテストを実施しています。

◆知の拠点あいち 重点研究プロジェクト（Ⅱ期）研究成果

<http://www.chinokyoten.pref.aichi.jp/cooperation/project02-02.html>

知の拠点あいち重点研究プロジェクト（Ⅱ期）の研究成果について掲載しています。

◆Aichi-Startup 戦略

<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/282849.pdf>

Aichi-Startup 戦略について掲載しています。

◆「あいちアクセラレーター2018」

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/jisedai/aichi-accelerator.html>

あいちアクセラレーターの取組について掲載しています。

◆クックパッド愛知県公式キッチン

<https://cookpad.com/kitchen/26129736>

料理レシピサービス「クックパッド」の愛知県公式キッチンのWebページです。県産農林水産物等を使用したレシピを掲載しています。

◆あいちのおさかなスポット AR スタンプラリー特設サイト

<https://saza-nami.com/>

あいちのおさかなスポット AR スタンプラリーの特設サイトです。2019年度は7月から12月に写真の投稿や動画の視聴をしながら産地を巡るイベントを開催しています。

◆あいちのスマート林業の推進

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/rinmu/ictringyou.html>

あいちのICT 林業活性化構想について掲載しています。

◆愛知県IoT 推進ラボ

<https://www.pref.aichi.jp/site/aichi-pref-iot/>

「愛知県IoT 推進ラボ」についての情報を掲載しています。

◆名古屋高等技術専門学校 組込みシステム科

http://www.pref.aichi.jp/shugyo/koukyou/nagoya/nai_f_kumikomi_system.html

名古屋高等技術専門学校 組込みシステム科について掲載しています。

◆県内初の危機管理型水位計の運用開始について

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kasen/kikaku1-h30press4.html>

県内初の危機管理型水位計の運用開始について掲載しています。

◆愛知県警/サイバーポリスゲーム

<https://www.pref.aichi.jp/police/anzen/cyber/keihatu/cyberpolicegame.html>

このゲームは、日常生活で遭遇するおそれのある、インターネット犯罪への対処方法を学ぶため、小学校5・6年生を対象としたゲーム形式の教材です。

◆あいち健康経営ネット

<https://www.kenko-keiei.pref.aichi.jp/>

企業等の「健康経営」の取組事例や県・市町村等の健康づくり事業等の情報を集約したポータルサイトです。

◆あいち地域包括ケアポータルサイト

<https://www.aichi-chiikihoukatsu-portal.jp/>

高齢者と地域をつなぐプラットフォームとして、地域包括ケアや認知症に関する活動団体、イベント情報等を掲載しています。

◆愛知県薬剤遠隔指導事業の登録薬局について

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/iyaku/18062101.html>

愛知県薬剤遠隔指導事業の登録薬局について掲載しています。

◆愛知総合教育センター

<https://apec.aichi-c.ed.jp/index.htm>

学校の授業で活用できる教育用コンテンツを制作し提供しています。

◆「RPA 導入による行政事務の効率化の実証実験」の結果について

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/somubu-somu/30rpa2.html>

「RPA 導入による行政事務の効率化の実証実験」の結果について掲載しています。

◆ペーパーレス会議システムの導入

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/somubu-somu/pkaigi.html>

ペーパーレス会議システムの導入についての知事会見の内容を掲載しています。

◆2018年度オープンデータに関するアンケート調査結果

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/joho/opendata-needs.html>

オープンデータに関するアンケート調査結果について掲載しています。

◆愛知県オープンデータカタログ

<https://www.pref.aichi.jp/life/7/>

愛知県が所管する情報の提供サービスを行っています。

◆あいち電子自治体推進協議会オープンデータカタログ

<http://www.e-aichi.jp/opendata.html>

愛知県と県内市町村がオープンデータとして提供しているデータのまとめサイトです。